



## S-openご紹介

---

2007年7月25日

JaSST'07 Kansai

# S-openとは？

---



- ソフトウェア技術者、個人による参加型のコミュニティです。
- 開発の現場で悩んでいることに対して、「少し進んだ」技術の適応を目指し、研究しています。
- 研究成果は、論文、書籍など様々な形で発信しています。
- 誰でも参加できます。

- 活動方針：
  - 一歩前に歩き出そう！
- 活動概要
  - 研究の活性化:ソフトウェア開発現場をより良くするために
    - モチベーションSIG
    - メトリクスSIG
    - 感性SIG
    - ソフトウェア構成管理SIG
    - ソフトウェア考古学SIG
    - その他、企画中
  - コミュニケーションの場を提供
    - ホットセッション、研究グループ、BOF
  - 最新の情報を提供
    - ホットセッション、ミニセッション

# 次回ホットセッション



## プロジェクト成功のための「やる気」アップ術

2007年8月28日 13:00 ~ 17:00

中央電気倶楽部(大阪北区)

講演タイトル:「S-open モチベーションSIGの取り組み紹介(仮)」

講演者 : 本間 直人氏

NPO国際ファシリテーション協会 理事

講演タイトル:「チームビルディング(仮)」

講演者 : 榎田 由紀子氏

株式会社CIJ

講演タイトル:「傾聴と承認によるモチベーションアップを図る

コーチング(仮) ~ ロールプレイ演習実施 ~」

講演者 : 藤原 みどり氏

(財)生涯学習開発財団 認定コーチ

- モチベーションSIG (継続)
  - ミニセッション開催(昨年度は1回開催)
  - ミニ雑誌(モチベーション・動機づけとは)の発行
  - 論文、雑誌記事の投稿を予定
- メトリクスSIG (継続)
  - ソフトウェアテスト定量的完了判断
  - ソフトウェアの規模とは何か?
  - ソフトウェアメトリクス解説本:自分で読みたい本を自分で書こう!
  - 繰り返しテストプロセスと、監視のためのメトリクス
  - 顧客満足度のメトリクス、またはその効果的活用の指針
  - ソフトウェア品質をリスクの観点から定量化するための研究
- 感性SIG (継続)
  - 2006年度のアナケート調査の分析を行い、アナケートの進め方を再考し、広範囲なアナケート実施のため他コミュニティとの連携検討をします。
  - また、定例会での感性に関するディスカッションを小冊子化し活動成果とします。

- ソフトウェア構成管理SIG (新規)
  - 大切だが、意外と知られていない構成管理を基礎から調査
  - 今の現場で困っていることへの適応手法の研究: 例)
    - ブランチ・マージしたときの衝突に関する問題
    - 開発環境との整合性
    - チェックインするときどこまでテストするか?
- ソフトウェア考古学 (新規)
  - ソフトウェアを改修するときソースコードにしか存在しない情報を取り出し、将来に残す手法の研究
    - 本当に必要なドキュメントとは?
    - プログラムの改修に必要なノウハウとは?
- その他 – ぞくぞく立ち上げ企画案中
  - 案
    - 組込みに適したプログラミング言語
    - ソフトウェアプロセスアセスメント(SPA)

- 研究グループ = ネット上のコミュニティ
  - スーパーSE (継続)
    - スーパーSEになる為にどうしたらいいかの議論やその他、雑談等
  - メトリクス (継続)
    - メトリクスSIGのコミュニティ版
  
- ホットスパセッション
  - 各SIG, 研究会の一大オフ会: 研究成果を情報交換
  - 2007年11月30日(金) & 12月1日(土) (予定)
  - 場所: 静岡県御殿場市 ホテル時之栖(予定)

- ホットセッション

- 5月19日(土) 記念講演(本日)
- 7月10日(火) ソフトウェア考古学
- 8月28日(火) モチベーション(仮)(大阪会場)
- 11月20日(火) プロセス診断(仮)
- 2月19日(火) SIG成果報告会

- 研究成果報告書
  - SIG成果を中心にS-openの活動成果をまとめたもの
  - S-open全員に配布(活動結果のフィードバック)
  - 2008年2月発行
  - 「SIG報告会」にて配布予定

- 奮ってご参加ください
  - 他社と共同の技術研究ができます
  - 会社を超えた人的ネットワークを構築できます
  - 最新の技術動向を低価格で得られます
  - ML・オフ会・懇親会での議論/交流は、ソフトウェアプロフェッショナルとしての視野を広げます
  - もちろん、S-openで得たことは、仕事に活かされます